

株式会社エスエスイー 御中

報 告 書

ノンアルコール除菌剤「サプレス」の抗ウイルス効果に
関する評価試験

平成 25 年 8 月 1 日

株式会社 予防医学推進センター



受委託概要

- 委託者 : ①株式会社 予防医学推進センター
〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8
日本感染症医薬品協会ビル 3F
TEL : 03-5740-6371 FAX : 03-5740-6185
②株式会社 エスエスイー
〒162-0821 東京都新宿区津久戸町 4-1 ASK ビル
TEL : 03-6228-1286 FAX : 03-5225-7036
- 受託者 : 特定非営利活動法人 バイオメディカルサイエンス研究会
理事長 小松 俊彦
〒141-0021
東京都品川区上大崎 2-20-8 日本感染症医薬品協会ビル 3F
TEL : 03-5740-6181 FAX : 03-5740-6185
- 試験内容 : ノンアルコール製剤「サプレス」の抗ウイルス効果に関する評価
試験
- 受託試験 No. : 試験番号 : (13-5-C)
- 試験主任者 : 特定非営利活動法人 バイオメディカルサイエンス研究会
第2研究室長 三宅 幸一
- 試験実施施設 : 特定非営利活動法人 バイオメディカルサイエンス研究会
BMS A 環文研共用研究棟、第2研究室
〒275-0024
千葉県習志野市茜浜 1-12-3
TEL : 047-451-2419 FAX : 047-451-2439
- 資料保管場所 : 特定非営利活動法人 バイオメディカルサイエンス研究会
BMS A 環文研共用研究棟
- 報告書作成日 : 平成25年7月31日

ノンアルコール除菌剤「サプレス」の抗ウイルス効果に関する評価試験

1. 目的

ノロウイルスの代替えとしてネコカリシウイルスを用いて被験薬剤の抗ウイルス効果を試験する。

2. 試験材料

ウイルス：ネコカリシウイルスF 9株

被験薬剤：ノンアルコール製剤「サプレス」

使用細胞：CrFK ねこ腎臓細胞

3. 試験方法

ウイルスと被験薬剤を1：9の割合で混合し、60秒、3分間それぞれ室温に放置し、40mg/mLのポリペプトンを加えて反応を停止させる。反応系に10mgのポリペプトンを加えたものとししないものも試験する。対照として薬剤の代わりにDWを使用する。

反応停止した液を段階希釈してブラック法にて感染価を測定した。

	タンパク質	反応時間		備考
サプレス	+	60秒	3分	
	-	60秒	3分	
対照	+	60秒	3分	

4. 結果

下表の成績を得た。

	ウイルス希釈	タンパク質												Log 感染値
		+						-						
		10 ⁻¹	10 ⁻²	10 ⁻³	10 ⁻⁴	10 ⁻⁵	Log 感染値	10 ⁻¹	10 ⁻²	10 ⁻³	10 ⁻⁴	10 ⁻⁵	Log 感染値	
サプレ ス	60 秒	多	多	142	11	4※	5.08	多	178	23	3	0	4.25	
		多	多	132	12	2		多	159	12	4	0		
	3 分	多	多	168	24	2	5.32	15	9	0	0	0	2.20	
		多	多	154	17	3		17	7	0	0	0		
対照	60 秒	多	多	235	23	6	5.45							
		多	多	220	33	12								
	3 分	多	多	188	35	1	5.64							
		多	多	152	52	3								

※ウイルスブラック数

サプレスはタンパク質存在下（1%,10mg/mL）では抗ネコカリシウイルス効果は示さなかった。

ノロウイルスの場合、おう吐物などウイルスとタンパク質が共存しているため、タンパク質存在下での抗ウイルス効果が必須となる。